



全農長野県本部情報／グリーン レーダー Vol.473

Contents

A-Policy **重点事業方針**

- ～灯油配送事業の取り組み～
「JA配達灯油 冬のあったか応援キャンペーン」の展開！

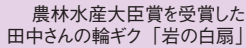
A-Reports／

・第50回信州フラワーショー サマーセクション……………	2
・JAまごころ宅配推進担当者研修会を主催……………	3
・第67回JA長野県営農技術員研究大会……………	4
・第36回全農酪農経営体験発表会……………	5
・（一社）日本ホルスタイン登録協会 創立70周年記念式典…	5
・第15回信州アルプス牛枝肉共助会……………	6
・小平奈緒選手が県産農産物をPR……………	6
・8月31日は「野菜の日」県内で野菜PRイベント……………	7
・御嶽海関を長野県産農畜産物で応援！……………	7
・2018信州総文祭で県産農産物をPR……………	8
・長野駅ビル内「長野県長寿食堂」で県内産農産物をPRしています…	8

新採用職員紹介…………… 9

A-Board／

・全農関東甲信地区親睦野球大会で初優勝。全国大会出場へ……………	9
・JA全農長野の事業現況……………	10
・10月の動き……………	10
・「長野県長寿食堂」野菜ビュッフェ提供スケジュール……………	10
・10月のラジオ番組表……………	10
・編集後記……………	10



▼野菜花き課

(敬称略)

GREEN RADAR 1

JAまごころ宅配推進担当者研修会を開催



長野県農協生活事業推進協議会生活専門部会生活購買研究会（会長／熊谷久志 JAみなみ信州経済部次長）は8月28日（火）、今年度2回目のJAまごころ宅配推進者研修会を松本公設卸売市場で開催しました。

JAまごころ宅配の推進に関わる担当者と全農長野県本部生活課職員、総勢19名が参加し、一昨年より始めた外部講師研修、「お客様の暮らし方やニーズに合わせて宅配事業のメリットを情報提供し、効果的に推進活動を展開できるようになる」ことを目的に研修を実施しました。また、推進活動の進め方や、信頼関係を築くコミュニケーション、宅配事業のセールスポイントの見直し等について、ロールプレイを含めた実践練習も行いました。

参加いただいたJA職員からは、「アプローチや世間話は出来ているが、その後の質問からニーズを引き出すことが出来ていない」「相手の話を聞くことや、ポイントを絞って話すことの重要性を知ることが出来た」「今後は、興味のある方を中心にチラシを配布す

る等、アプローチするターゲットを絞って推進をしていきたい」「推進する際には話す内容を事前に準備・点検していきたい」等の感想をいただきました。今回の研修を活かし、より多くの方にJAまごころ宅配を知っていただけるよう、推進を行ってまいります。



をいただきました。また、増欠品の仕組みやまごころ宅配の各種サービスについて、感謝のことも多く寄せられました。その反面で商品に対する改善要望や新たに取り扱いを希望されるご意見もいただきました。このアンケート結果を今後のメニュー作成やサービスの提供に可能な限り反映できるよう努め、さらに多くの方にご利用いただけるよう、PRしてまいります。



～JAまごころ宅配のお申し込み～

全農長野県本部生活課 まごころ宅配（026-236-2257）
またはお近くのJAまでお気軽にお声がけください。

JAまごころ宅配ホームページ

JAまごころ宅配

検索

「優良事例を学習し、営農指導の実践に役立てる」

第67回JA長野県営農技術員研究大会

JA長野県営農センターは9月4日（火）、JA長野県営農技術員研究大会を松本グリーンパルで開催しました。台風21号が近付くなか、当初予定を前倒しして午前開催となりましたが、総勢100名を超える技術員・関係者が参加しました。

今年は、2018年JA長野県ビジョン・後期中期計画の仕上げの年で、自己改革を着実に推進していく年にあたります。この大会は、農業所得の増大と農業生産の拡大に向け、営農技術員をはじめとする営農に携わる関係者が、優良事例の学習を通じて営農指導の実践に役立てることを目的に、毎年開催されています。また、永年の技術員活動に対する功績者表彰や優績者表彰および長野県営農指導者会議の前役員への感謝状の授与を行いました。功績者は、JAでは営農技術員を15年、県連では営農指導に20年携わった職員を対象とし、今年は9名が表彰されました。優績者発表は4名が表彰され、各事例発表がありました。

(1)「大豆の生産拡大に向けた取り組み」
JA信州うえだ 小林正徳課長代理
塩田産大豆の生産振興に若手グループを立ち上げ、栽培実習・販売先メーカーとの情報交換・加工品の販促等を行い、ブランド化を進め、地域活性化に取り組んでいる事例を紹介。

(3)「リンゴ改植推進により活力のある産地を目指して」
JAあづみ 樽沼友和係長
老齡樹となった園地での改植に向けて、部会の支部活動について事例紹介し、今後は数量確保の面から「高密度植わい化栽培」の導入を進めている事例を紹介。

技術員の交流を含め、営農技術員指導者の活動に取り組んでいます。



功績者表彰授与式

(2)「IPM農法の実践に向けて」

JA上伊那 伊藤喜代司課長

IPM（総合的病害虫・雑草管理）

は、化学農薬のみに依存した病害虫・雑草防除から脱却し、安全な農作物を安定生産し、経済性を考慮しつつ環境負荷を軽減し持続可能な農業生産を行うことを目的とした手法。JA上伊那では「IPM野菜振興実践モデル農場」を立ち上げ、パブリカ・ミニトマトに取り組んでいる事例を紹介。



事例紹介／上伊那 伊藤課長

(4)「北信州みゆきボーク生産基盤再構築に向けて」
JAながのみゆきブロック 齋藤広幸係長

北信州みゆきボークについて、短期・中期・長期計画からの支援策を立て、行政とも連携して取り組んでいる事例を紹介。



事例紹介／ながの 齋藤係長



平成30年度功績者一同

第36回全農酪農経営体験発表会

～優秀賞にJA長野八ヶ岳の栗田岳志さん～

第36回全農酪農経営体験発表会で、JA長野八ヶ岳の栗田岳志さん（24歳）が、優秀賞の栄誉に輝きました。

この発表会は、酪農家の経営安定と発展に寄与することを目的に、毎年、全国の特に優れた酪農経営の内容や経営技術などを酪農経営者自身が発表します。応募者の中から2回の書類選考と1回の現地審査（審査委員長／日本大学小林信一教授）を通過した6名が、9月7日（金）に日経ホール（東京・千代田区）で酪農経営の内容や経営技術などを発表しました。

長野県からは第31回以来となる5年振りの出場で、栗田さんは「父を超えるオールラウンダーを目指して！」と題し、自身の体験を発表しました。

就農して5年目の栗田岳志さんですが、就農当初から自家産後継牛生産や和牛素牛生産に取り組み、北海道初妊牛導入に頼らない、足腰の強い酪農経営を目指してきました。表題にある「オールラウンダー」とは、酪農経営は「一つの分野（例えば乳量が多い）だけ突出していてもダメ。全ての分野の歯車が噛み合わないとう成功しない」という父、茂さん

の教えが基になっています。酪農経営は搾乳、飼料、哺育・育成、堆肥など多岐に亘っており、岳志さんは、その全ての分野で秀でた成果を収めることを目標にしています。

就農わずか5年ですが、29年度東海酪連乳質共励会（本誌9月号掲載）での優良賞受賞に続き、信州乳用牛群検定組合表彰では、所有のドリームヒル エルクバイン トラベル号が優秀牛に選出されるなど、日々の努力が実を結び、結果となって表れてきています。

発表会では、第12回「学生酪農の夢コンクール」も同時開催され、入賞した学生とのディスカッションは大いに盛り上がりしました。

「父にはまだまだ足元にも及ばない」と言う岳志さんですが、

な若い生産者が更に実力を付けて、県内の酪農事業を牽引していくてほしいと期待は大きく膨らみます。



優秀賞を受賞した栗田さん（前列左から3人目）

（一社）日本ホルスタイン登録協会 創立70周年記念式典

（一社）日本ホルスタイン登録協会の創立70周年記念式典が、9月5日に東京都内で開催され、長年に亘りホルスタイン登録事業の発展に貢献し、顕著な功績を挙げた方が表彰されました。

長野県からは、日本ホルスタイン登録協会の前田勉会長（JAながの）が農林水産大臣から、南信酪農業協同組合（JAながの）の山下秋広所長が全国の表彰者の代表として日本ホルスタイン登録協会会長から、それぞれ感謝状が授与されました。



農林水産大臣から感謝状を授与された前田会長（前列左から4人目）

第15回信州アルプス牛枝肉共励会

～最優秀1席にJA信州うえだ久保田恵美子さん～

JA長野県・信州肉牛生産販売協議会と全農長野県本部は9月7日（金）、（株）長野県食肉公社で第15回信州アルプス牛枝肉共励会を開催しました。「信州アルプス牛」とは、和牛と乳用種の掛け合わせにより生産された「交雑牛」です。

共励会には県内の交雑牛生産者により丹精込めて育てられた選りすぐりの交雑牛30頭が出品され、去勢では3等級以上比率71・4%（4等級以上比率21・4%）、雌では3等級以上比率87・5%（4等級以上比率31・3%）と品質に優れた共励会となりました。

最優秀賞1席には久保田恵美子さん（JA信州うえだ）、最優秀賞2席には小林勝さん（JA松本ハイランド）が選ばれました。この共励会に出品された多くの牛が、（株）長野県A・コープで9月14日（金）から16日（日）に開催された「信州農畜産物まつり」で販売され、お客様から、改めて信州アルプス牛に



来賓の挨拶をする長野県食肉公社の依田秀樹社長

対し高評価をいただきました。また、ファーマーズうえだ、ファーマーズ篠ノ井、すこつ、きそ、こまがねの5店舗では共励会出品生産者が店頭に立ち、信州アルプス牛のPRを行い、ブランド認知向上を図りました。

畜産課では今後も長野県の肉牛事業発展のため、枝肉共励会・研修会等を開催し、信州アルプス牛の販路拡大に努めてまいります。

小平奈緒選手が県産農産物をPR

～県内JR5駅に看板設置～

全農長野県本部生産販売企画課は、長野県産農産物の総合宣伝として掲出していたJR駅看板を、スピードスケートの小平奈緒選手のデザインにリニューアルしました。

掲出場所は、JR長野・佐久平・軽井沢駅の新幹線ホーム、JR松本・茅野駅のコンコースです。長野・佐久平・軽井沢・松本は設置看板、小平選手の地元でもある茅野駅はデジタルサイネージで掲出しています。駅をご利用の際、またお近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。



8月31日は「野菜の日」県内で野菜PRイベント

全農長野県本部生産販売部は、8月31日の「野菜の日」に合わせ、長野県産野菜をPRしました。

「野菜の日」直前の8月26日(日)にA・コープアーマーズ南長野店で開催された「キッズ野菜ソムリエプロデュースやさいの日2018」(主催/やさいの日実行委員会)に協賛しました。イベントは、野菜・果物の

魅力を友達に伝える「キッズ野菜ソムリエ」による「冷や汁ワークショップ・振る舞い」や、野菜の日トークセッション、野菜ソムリエによるベジタブルカッティング講座、水槽の中の野菜を箸で救い出す「野菜レスキュー」など、野菜に親しむ企画が親子連れのお客様に好評でした。

JR長野駅隣接のMIDORI長野で開催された「これが信州の野菜パネル展」(主催/長野県)では、県産野菜の品目ポスターを展示し、信州野菜ガイドブックと各種野菜レシピを配布。また、現在開催中の「信州秋白菜キャンペーン」の告知も行いました。



「野菜の日」トークショー



ベジタブルカッティング



野菜レスキュー



「これが信州の野菜パネル展」の展示

御嶽海関を長野県産農畜産物で応援！

全農長野県本部は9月4日(火)、大相撲秋場所を前に、初の大関昇進に挑む御嶽海関の活躍を祈念して、県内産農畜産物を贈呈しました。

今回の贈呈は、信州ポーク12kg、福味鶏12kg、飲むヨーグルト30本、えのきたけ・ぶなしめじ・なめこ各60パック、レタス10kg、ハクサイ30kg、キャベツ20kg、白ネギ5kg、シャインマスカット・ナガノパール各5kg、つがる10kg、豊水10kg、長野県産白菜キムチ12パックです。

今年度も、毎場所番付発表後に農畜産物を贈呈していますが、秋場所前のこの時期は定番の県内産畜産物・きのこに加えて、野菜、果実の種類も豊富に出揃い、信州の秋の味いっぱいの応援贈呈となりました。また、出羽海部屋ではちゃんこ鍋とご飯に加えて、必ず何かしらの漬物が並ぶそうですが、今回も贈呈した長野県産ハクサイを使ったキムチがとても好評とのことでした。



贈呈した農畜産物を持つ御嶽海関と出羽海親方

2018信州総文祭で県産農産物をPR

全農長野県本部生産販売部は、8月7日(火)から11日(土)に長野県内各地で開催された「2018信州総文祭」のお弁当食材を提供し、県産農産物をPRしました。

米(風さやか)750kgをはじめ、ズッキーニ、セルリ、キュウリ、えのきたけ、ぶなしめじ、エリンギの合計1.2t超が、高校生が考案した5種類のお弁当合計13,000食に使用されました。また、お弁当のメニュー表の裏面では提供食材を紹介し、全国から集まった高校生・関係者に県産農産物をPRしました。



5種類のお弁当のひとつ「旅するなび助弁当」



メニュー裏面で提供食材をPR

長野駅ビル内「長野県長寿食堂」で県内産農産物をPRしています

全農長野県本部生産販売企画課が企画実施する青果物の総合宣伝では、長野駅ビルMIDORI3階にある「長野県長寿食堂」(運営/株式会社きちり)の店頭において、年間を通して長野県青果物のPRを行っています。県内産の出荷が本格化する6月からは、週末を中心に同店の野菜ピュッフェへ毎週、週替わりで青果物を提供し、品目のPRを実施しています。4月はきのこ、6月はブロッコリー、レタス、リーフレタス・サニーレタス、7月はあんず(ハコット)、ズッキーニ、セルリ、スイカ、きのこ、8月はブルーベリー、桃(なつこ、プラム(太陽、

リンゴ(シナノリップ)を野菜ピュッフェに提供するなど、旬の彩りを添えながら同時にキャンペーンなどの告知も行っています。

このほか野菜ピュッフェご注文の方には時期に応



店頭県内産農産物のPR資材等を設置

10月の動き▶

総務広報課	10/13(土)	協同組合フェスティバル 長野市・エムウェーブ エントランスプラザ
	10/14(日)	松本山雅FCアウェイ戦 りんご三兄弟PRイベント 石川県西部緑地公園陸上競技場
	10/18(木)	味覚の授業 豊科南小学校
JA長野県 営農センター	10/6(土)・ 7(日)	JA長野県農産物直売所 ネットワーク共同イベント JA長野県農産物直売所ネットワーク参加直売所
生産販売企画課 (JA長野県農産 物PR協議会)	10/9(火)	食育活動「農から楽しむ食の世界」 “お米” 編 信学会長野幼稚園
	10/16(火)・ 17(水)	大学生協「食育ランチ」協賛 信州大学等の県内大学学生食堂6会場
きのこ課	10/5(金)・ 6(土)	第41回信州きのご祭り ①展示品一般公開 10/5(金)15:00～18:00、 10/6(土)9:00～14:00 (会場)長野県立大学ソーシャルノベーション創 出センター ②即売会 10/6(土)10:30～商品が完売次第終了 (会場)長野市中央通りトイゴ西側
酪農課	10/6(土)	松本山雅FCホームゲーム 牛乳PRイベント 松本市・アルウィン

MIDORI長野3階
「長野県長寿食堂」野菜ビュッフェ提供スケジュール(生産販売部)
長野県の健康食を一汁三菜の定食で食べられる食堂。野菜ビュッフェ
に県産農産物を提供しています。

10/6(土)～8(月・祝)	シャインマスカット
10/12(金)～14(日)	秋映
10/19(金)～21(日)	シナノスイート
10/26(金)～28(日)	シナノゴールド

※都合により実施日・品目が変更になる場合があります。

10月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
10/2(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	松本山雅FC「JA全農長野アー」の様子
10/4(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	エリソギ(JA中野市)
10/9(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	インターバル速歩(信州大学能勢博教授出演)
10/11(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	ぶなしめじ
10/16(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食レシピ紹介
10/18(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	米(JA佐久浅間)
10/23(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
10/25(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	ラ・フランス(JA中野市)
10/30(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	1級フードアナリスト中島麻希さんのおはなし
10/1・8・15・22・29(月)	FM長野	ラジモ!内「発見!ながののゲンキ!～みらいのミカタ」	米(JA信州諏訪)

是非お試しあれ。(K)

今年は秋刀魚が豊漁!と大きく報道されていましたが、店頭価格はどこもかなり高い。・・・どうも最近の報道ではかなりの不漁のようです。サイズも小型なのだから。でもこの時期の、新鮮で脂ののった新秋刀魚は秋の最高のごちそうです。どうしても食べたくありません。そこで秋刀魚の塩焼きを格段においしく作るコツをひとつ。

それは「塩を2度ふる」です。まず流水でサンマをきれいに洗う。1回目の塩をふり30分程おいてなじませます(臭みをとる、うまみを引き出す)。そして水洗いして一旦塩気を抜き、水気もとったら、2回目の塩を軽くふり、すぐに焼く。それだけです。簡単ですが、臭みがとれ身の弾力もでて、旨みがいっそう増すそうです。

編集後記

JA全農長野の事業現況▶

平成30年度8月末部門別実績表

(単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	7,003	97	101
果	実	10,176	105	120
野菜花き		36,653	105	110
野菜種苗センター		136	108	105
きのこ		4,997	82	93
営業		5,414	94	105
生産販売部計		64,377	101	108
包装資材		3,340	96	96
生産資材		5,008	107	103
農業機械		3,408	108	94
施設住宅		1,758	159	76
生産購買部計		13,514	109	95
畜産		5,810	112	99
三岳牧場		125	102	90
SPF繁殖センター		130	106	117
酪農		7,719	110	98
ハケ岳牧場		107	75	81
畜産酪農部計		13,891	110	99
燃料・ホームエネルギー		9,942	118	111
SS協同経営		4,943	115	112
生活		5,029	97	93
生活部計		19,914	111	106
長野県本部計		111,696	105	105

(内部販売高含む)

新採用職員紹介

【大阪販売事務所 三村 直輝】

みむら なおき

大阪販売事務所の三村直輝です。特技は野球で、趣味も野球観戦と大の野球好きです。今年の夏は、第100回全国高等学校野球選手権に度々足を運び、勇気と感動を高校生からもらっていました。特に、金足農学校がする試合展開には感銘を受けました。本会では、社会人としての責任感やマナーを学びたいと考えています。



ブドウ販促 in 大丸心斎橋店にて

【東京販売事務所 滝澤 美紀】

たきざわ みのり

こんにちは。東京販売事務所で花きと果実を担当しています、滝澤美紀と申します。出身は長野市です。小中高とバスケットボール、大学ではチアリーディングをやっていました。食べることを、体を動かすことが好きです。長野県の農業と農産物を消費者へ伝えていきたいと思います。明るく元気に頑張ります。ご指導よろしくお願いいたします。



信州力くんが大好きです

A-Board

全農関東甲信地区親睦野球大会で初優勝。全国大会出場へ

全農長野県本部の野球同好会「野球野郎会」が、9月14日(金)・15日(土)に東京都内で開催された平成30年度全農関東甲信地区親睦野球大会で優勝し、初の全国大会出場を勝ち取りました。

1回戦の山梨県本部戦では、ランナーをひとりも出すことがなく、ピッチャー4人継投で9対0の完全試合。2回戦(準決勝)は、第1回から4回大会まで連続優勝の群馬県本部を相手に1点先制された後、4回にホームラン2本を含む打者一巡の猛攻で、8対1で勝利。3回戦(決勝)は雨のため東京都本部にジャンケンで勝ち、開催5回目にして初の全国大会出場を決めました。

監督を務める生産購買部の宮澤秀実副部長は「昨年の敗退から一年間、選手全員が自身を見直し、全てにおいてレベルアップし、この勝利を手に入れました。応援いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。念願の全国大会への切符をいただきましたので、もう一度、チーム全員の力で勝利し、職場に明るい話題が提供できるよう頑張ります」と力強く語っています。

全国大会は、10月26日(金)・27日(土)に埼玉県で開催されます。



小平奈緒は、 「信州」を食べて 育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属:相澤病院(松本市)



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

グリーンリーダー10月号(毎月発行) 2018年9月20日発行
発行/ JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 第473号
発行人/ 小林哲男 印刷/ PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

